

新生モアコスメティックスは 今まで以上の安全・安心を届けます

2014年、1995年設立のモアコスメティックス株式会社が新工場で、20年目をスタートさせました。徹底した安全・安心を、もうワンランクアップさせて提供していきます。

「安全・安心」を 追求し続けて20年目

「安全・安心」を一番に考えた製品を開発し、特に敏感肌やアレルギー肌の方たちに喜ばれる製品を、数多く世に送り出してきたモアコスメティックス。

2014年が設立から数えて20年目、さらに1月から新しい工場をスタートしたということで、新工場の建設や今後のモアコスメティックスについて亀田宗一社長に伺いました。
——1995年設立ですから、今年は何年目となりますか？

亀田社長（以下略）「20年前、モアコスメティックスの設立のきっかけは私自身の肌トラブルにあります。シャンプー、トリートメントに安全なものがなく、そんな不安を解消したくて設立しました。安全なものを安心して使い続けたいという化粧品をつくるのが、役割

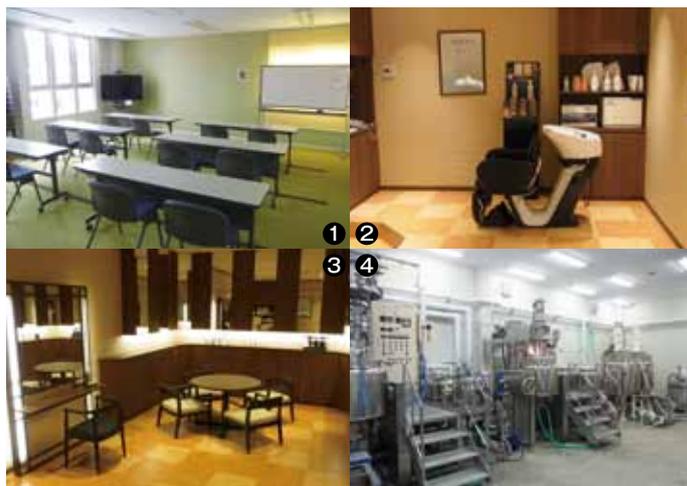
使命だと思ってきました。モアコスメティックスは、多くの方に大きなご支持をいただいて、大変うれしい限りです」

——1月より新しい工場をスタートされたそうですが？

「新工場でもっともっと安全な製品をつくるために、より充実した設備や体制になることによって、今まで以上の「安全・安心」をお客様に届けることをお約束します。

本社と工場が一緒になったことから、密な連携がとれるようになり、お客様へのサービスもいっそう向上できると思います。生産量の面でも、製造釜が2機増え4機になりましたから、これまでの倍の生産が可能になりました。

また、新しい工場では製造している現場を見学できるコースはもちろん、モアコスメティックスの製品を実際のお店のような雰囲気の中で体験していただくた



①広々とした研修室 ②&③体験できるサロンルーム ④充実した設備の新工場

めのサロンを設けていますので、工場にお越しいただければ、よりいっそうモアコスメティックスの製品を身近に感じていただけるのではないかと考えています」

「アレルギー0(ゼロ)」、 という大きな挑戦

——20年目という節目の年ですが、今後の目標などは？

「目標といいますが、目指す未来としては、モアコスメティックスのシャンプーに代表される細胞を傷つけない洗い流す化粧品を多くの方に使い続けていただき、誰もが健康な肌状態を保ち、『アレルギー0(ゼロ)』を実現できればという思いがあります。私自身が深刻な肌トラブルを体験していますので、この『アレルギー0』は常に意識しています。

アレルギーを完全に治すことは、現在の医学でも難しいことだと思います。それでも、化粧品メーカーとして『予防コスメ』※という考えを広め、一人でも多くの方に安全な化粧品を使っていただくことによって、少しずつではありますが、アレルギーの発症率を軽減させていけるのではと考えています」

——「安全・安心」にこだわり、大きな目標に向かって進化を続けるモアコスメティックスに今後も注目です。

※肌を傷つせず、肌本来の健康なバリア機能を発揮させる



傷ついた肌からアレルギーを発症!?

肌バリア機能にダメージを与えないことが 健やかな肌への第一歩

お肌の調子が悪いと一日中、気分が乗らない——とはよく聞く話です。肌が荒れていたり、シミや吹き出物ができていたり……、お肌は見た目年齢をも左右する大きなポイントです。

しかし、この「肌トラブル、がきっかけで深刻な病気にかかってしまう可能性があることを知っていますか？

表皮、真皮、皮下組織の3層からできている肌（皮膚）には、「外敵から身を守る」「体内環境（水分など）を外に出さない」といった非常に重要な役割があります。そのため、肌トラブルは体の健康にかかわる大きな問題といえるのです。

肌の最上層は、わずか0.02ミリの厚さしかない角層といわれる部分です。この皮脂と角質細胞（NMFを含む）、角質細胞間脂質（セラミド）で構成され

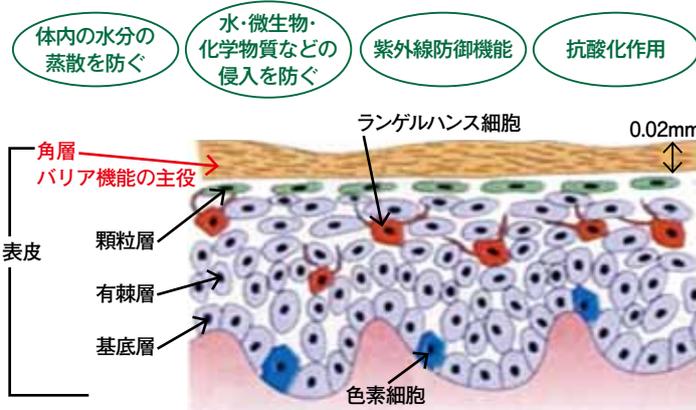
ている角層は、外敵から身を守るバリア機能をもっています。

たとえば、肌バリアがまったく機能していないとどうなるでしょう？ 空気中に存在する無数の微生物（菌）は肌から侵入し、すぐに感染症になりますし、紫外線が基底層や真皮にまで到達し、ガンを発症する恐れだってあります。

もっと身近な例をあげると、肌トラブルが原因でアレルギーが発症します。最近では蕎麦や卵、牛乳、小麦などのいわゆる「食物アレルギー」の発症原因が肌にあるといった学説もかなり支持されてきています。

なぜなら、アレルギーは免疫と呼ばれる、もともと私たちの体に備わっている体の防御機能の暴走だからです。この免疫機能は、外敵を感知したときにそれを排除するために働きます。

正常なお肌（皮膚）のバリア機能



ところが、外的要因との接触の機会が最も多い肌には、この免疫をつかさどっている細胞（ランゲルハンス細胞など）がほかの臓器と比べても多いため、アレルギー発症の場となる可能性が高いのです。

つまり、肌トラブルによって、

バリア機能を低下させてしまうことは、微生物やアレルゲン、紫外線などを、体内にたやすく侵入させてしまうリスクをはらんでいます。そのため、肌バリアを傷つけないこと、弱らせないことが万病の予防ともいえるのです。

安全・安心なお酢系シャンプーは お肌にダメージを与えず、肌が本来もっている 正常なバリア機能を働かせます

肌トラブルを悪化させる原因のひとつに、シャンプーなどで使用されている硫酸系・アミノ酸系洗浄剤があげられます。モアコスメティックスでは、この問題を解消するため、低刺激なお酢系洗浄剤を独自に開発して、シャンプーに配合しています。

お酢系洗浄剤と硫酸系洗浄剤、アミノ酸系洗浄剤の刺激の差は、実際の人の表皮細胞を培養して

使用する、細胞生存（皮膚刺激性）テストでもはっきりとした数字で現れています。硫酸系洗浄剤やアミノ酸系洗浄剤では1時間後には90%の細胞が死んでしまうのに比べ、お酢系洗浄剤では、細胞がいつさい死滅しないことが確認できています。

このお肌の細胞に対する刺激の差が、直接的な炎症を引き起こす（一次刺激）だけでなく、

アレルギーに代表されるさまざまな病気の発症にかかわってくる危険性をはらんでいるのです。

安全・安心なお酢系シャンプーを使用することで、肌本来のバリア機能が保たれ、微生物やアレルゲン、紫外線などの外的刺激はしっかりブロックされま

す。そのうえ、肌内部のうるおいは逃すことなく、きっちり守ります。

美しく健やかな肌は、どんな高価なサプリメントよりもあなたの体の健康をサポートしてくれる力強い味方なのです。



パーデニス スカルプシャンプー

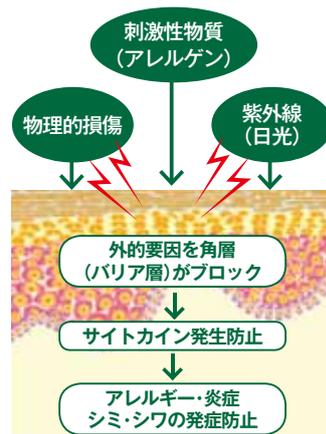
250ml ボトル 2,000円(税抜)
500ml ボトル 3,500円(税抜)
400ml 詰め替え用 2,500円(税抜)

洗浄剤の細胞生存（皮膚刺激性）テスト結果

洗浄剤	1時間後の細胞生存率(%)
お酢系洗浄剤（モアコスメティックスシャンプー）	101.1%
硫酸系洗浄剤（一般市販シャンプー）	10.2%
アミノ酸系洗浄剤	11.4%

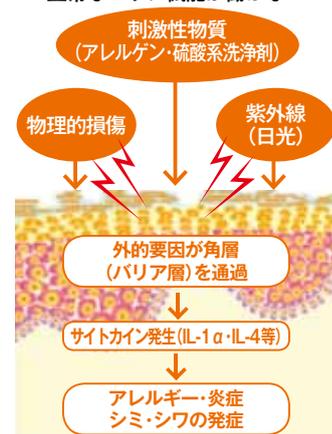
お酢系シャンプーを使用して健康な肌では…

正常な細胞（角層）を保っていて、肌本来のバリア機能が働く



硫酸系シャンプーを使用してダメージを受けた肌では…

特に最外にある角層が破壊され、正常なバリア機能が働かない



モアコスメティックスが提唱するお肌に刺激を与えないスキンケアの基本〈洗う・補う・護る・粧う〉のポイント

化粧品や食品などの毎日使う(食べる)身近な製品の安全性については、いま一度見直す必要があるかもしれません。安全な化粧品にこだわり続けるモアコスメティックスが考える、スキンケア製品の気をつけるポイントを紹介します。

〈洗う〉は、最もお肌に刺激を与える可能性のあるデリケートな製品。 低刺激性を最優先に考えられた化粧品だけが安心して使用できる

スキンケアで最も重要な〈洗う〉化粧品。その起源は、400年以上前までさかのぼります。その頃に使われていた洗浄剤は、製法はかなり違いますが、今でも広く使われている石けんです。

日本に石けんが伝わってきたのは16世紀頃とされ、そこから約500年の歴史をもつこととなります。そんな長い歴史をもつ石けんは安全性も抜群です。

ただ、〈洗う〉というお手入れは、微生物を除去するという絶対的な目的があるため、肌を傷つけてしまう可能性と背中合わせであることを忘れてはいけません。特に、石けんの中に殺菌効果の高い薬用成分などが配

合されている場合は、少し気をつける必要があります。

〈洗う〉に最も重要なことは、刺激のない洗浄化粧品で、お肌に負担をかけずに汚れだけをキレイに洗い落とすことです。

しかし、残念ながら洗う化粧品の中には、過度に殺菌成分や機能性成分を配合している製品も多いのが現状です。

モアコスメティックスは、肌に刺激を与えない、独自のクレンジング処方を採用して、クレンジング剤を開発するなど、肌へのやさしさと高い洗浄力を兼ね備えた〈洗う〉化粧品をラインアップしています。

バーデンス〈洗う〉化粧品



セルディーブクレンジング

180ml 5,600円(税抜)

安全性を重視し特殊な液晶系クレンジング処方が開発された、クレンジング剤。肌に負担をかけずに、メイクを包み込み、素早く落とします。



セルクリアフォーム

100g 4,000円(税抜)

石けん中の刺激物質である遊離アルカリを最小限に抑えた、低刺激タイプの洗顔フォーム。弾力のあるクリーミーな泡が汚れをやさしく包んで落とします。

〈補う〉化粧品は、自分のお肌にあわない成分が配合されていなければOK

清浄な状態になったお肌に補うべきものは、十分な水分と適度な油分です。そこで、化粧水、美容液、乳液、クリームなど〈補う〉化粧品の出番です。これらは化粧品メーカーが大きく宣伝することもあり、スキンケアの中でとても重要である印象をもたれているかもしれません。

しかし、実はこの〈補う〉化粧品の構造はとても単純です。なぜなら補うべきものは「水、油」といったありふれたものだからです。どんな化粧品メ

ーカーの製品でも多少の保湿力、使用感の差はあっても安全性という点では大差はありません。

間違った〈洗う〉で細胞を傷つけていない限り、お肌にあわない成分(アレルギー)が配合されていなければ心配する必要はありません。

モアコスメティックスは、バリア機能を構築するセラミドポリマー、保湿効果を高めるレチンポリマーを配合して、お肌に複合的に働く〈補う〉化粧品づくりをしています。

〈護る〉は、高い機能を発揮する製品を選ぶ。 肌に負担をかける機能成分には要注意

健康な肌には本来、外敵から体を護る機能が備わっているのですが、想定以上の刺激(メイク製品からの刺激や強すぎる紫外線)に対しては、それに適した化粧品でブロックする必要があります。

これらの〈護る〉化粧品は、用途もさまざま、それぞれの機能に特化した製品づくりがされているのが特徴です。そのため、新しい機能性成分や最新のテクノロジーが次々と開発され、化粧品としても非常に目まし

い進化がみられます。

紫外線(UV)防御製品を例に挙げると、SPF・PA(紫外線防御指数)の最高値が変わり、数年前とはその防御効果も大きく違います。ただ使用感や機能性を優先し、安全性の面では肌に負担となる「紫外線吸収剤」を配合した製品が多く出回っているため、注意が必要です。

モアコスメティックスは、「紫外線反射剤」を使用することで、安全性と高い紫外線防止効果を両立させています。

バーデンス〈補う〉化粧品



セルパーフェクトエッセンスLV1・LV2

120ml 5,200円(税抜)

整肌用、保湿用と自分の肌状態に適したタイプを選ぶ化粧液です。



セルパーフェクトリクイド

30ml 7,000円(税抜)

化粧液をギュッと凝縮した美容液。乾燥したお肌を重点的に保湿します。



セルパーフェクトクリーム

30g 12,000円(税抜)

乾燥肌に必要な体内バリア・保湿成分(セラミド・リン脂質)配合の保湿クリーム。

バーデンス〈護る〉化粧品



セルプロテクター

30ml 7,000円(税抜)

セラミドポリマー(保護成分)で肌表面に薄い保護膜を形成し、メイクなどの刺激から肌をガードする保護用美容液。



サンシェード(SPF50+・PA++++)

25ml 3,500円(税抜)

「紫外線反射剤」だけで最高級のUV防御効果をもつ日焼け止め。お肌の弱い方も安心してご使用いただけます。

よそお 〈粧う〉は、タルクに含まれるアスベストの危険性を しっかりと意識することがポイント

ファンデーションや口紅などに代表される〈粧う〉製品は、化粧品、という文字からもわかるように、肌を美しくする（魅せる）という考えが原点にあります。

女性にとってのメイクは、気持ち切り替えたり、特別な日にいつもと違うメイクでより華やかな自分を演出したりするもの。また、最近では高齢者にメイク指導をすると、メイクを体験された高齢者は若々しい気持ちになり、脳波も活性化されたといった報告もされています。

そんな、気分を大きく変えてくれる〈粧う〉化粧品ですが、安全性については気をつけな

ればいけないポイントがあります。それは、発ガン性物質であるアスベストが配合されているものがあるということです。

アスベストといえば断熱材などとして古い建物などに使われていた建材を思い浮かべますが、実は市場で販売されている多くのファンデーション原料として使用されている「タルク」の中にも微量に含まれています。

それは、タルクの構造がアスベストと酷似していること、また化粧品に使われているタルクは採掘された天然の鉱石を原料としているため、避けることができない問題ともいえます。

にもかかわらず、価格、使用

感の良さからタルクはファンデーションの主原料として今でも多く使われているのです。この安全面を軽視した結果、ベビーパウダー（成分の大半がタルク）を安全性が高いと思いついて、知らずに使用し続けた方などで中皮腫と呼ばれるガンになった例もあります。タルクに微量に混入しているアスベストの危険性は、決して他人事ではないのです。

モアコスメティックスは、このタルクを排除するために、安全性の高いすべて合成のファンデーション原料、モアパウダーを開発して、〈粧う〉化粧品に配合しています。



タルク
(化学式 $3MgO \cdot 4SiO_2 \cdot H_2O$)
柔らかい天然鉱物で、ベビーパウダーやファンデーションなどの主原料として利用。アスベストと成分が非常に似ている。



アスベスト
(化学式 $3MgO \cdot 2SiO_2 \cdot 2H_2O$)
住宅建材として広く使われてきた天然鉱石。中皮腫や肺ガンなど、人体への健康被害が大きな社会問題になり使用禁止になった。

バーデンス〈粧う〉化粧品



パウダーファンデーション

11g・全8色 各3,900円(税抜)

天然タルク、マイカ、セリサイトフリーのパウダーファンデーション。若々しくみずみずしい透明感あふれる肌に導きます。



クリームファンデーション
(全4色 SPF15・PA++)

15ml・全4色 各3,500円(税抜)

高いカバー力とバリア機能をもった、天然のタルク、マイカ、セリサイトをいっさい含まないクリームファンデーション。



プレストパウダー

12g・全2色 各3,900円(税抜)

シワ・シミ・毛穴レスのなめらかで、きめ細かな上質肌に仕上げる固形おしろい。



フェイスパウダー

12g 4,600円(税抜)

透明感がありながら華やかな輝きを演出、ツヤとゴールドの輝きでお肌をドレスアップしてくれる粉おしろい。



バーデンス製品の安全性・機能性は公正な試験で得られたデータで証明されています。洗い流さなくても刺激のないトリートメントも画期的!

「毎日使うものだからこそ安全なものでありたい」——

その思いで開発されてきたモアコスメティックスの製品は、どれも肌にダメージを与えません。なぜなら、モアコスメティックスでは製品の安全性を、何段階にもわたる公正で厳正な試験で確認をしているからです。

まず第一段階として、人の表皮細胞を採取、培養して、実際の人の肌細胞を再現した培養細胞 (LabCyte-EPI) を使用した細胞生存確認で細胞を傷つける可能性があるかを確認します。

そこで安全が確認できたも

のについて、第二段階として第3者機関に試験を依頼し、皮膚科医の判定のもとヒトパッチテストで最終的な安全性を検証しています。

化粧品より厳しい条件でシャンプーをテスト

モアコスメティックスが低刺激洗浄剤として独自開発し、特許取得に至ったお酢系洗浄剤を配合した『バーデンススカルプシャンプー』。カチオン性界面活性剤の刺激を特殊技術で中和した『バーデンススカルプトリートメント』。これらのシャンプー、トリートメントについてもヒトパッチテストでの安全性確認を行っています。

通常洗い流す製品は、洗い流すものだという理由から、ヒトパッチテストが実施されることはありません。しかし、モアコスメティックスは、「24時間閉塞ヒトパッチテスト」という1日つけっぱなしの保湿化粧品と同等の試験を行い、安全性を実証。また、機能性もさまざまな試験で確認をしています。洗い流さな

くても刺激のないトリートメントも画期的なものです。紫外線防御機能 (SPF・PA) などは、公正な判断ができるように第3者機関に依頼して、試験を実施しています。

このように、多くのデータがそろっているため、モアコスメティックスは胸を張ってお客様に「安全・安心」を提供することができるのです。